



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
 コード番号 7826 URL <https://www.furuyametals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 榊田 裕之 TEL 03-5977-3377
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	24,270	15.0	7,507	△6.4	7,455	△7.2	5,002	4.2
2022年6月期第2四半期	21,102	87.2	8,019	319.1	8,029	329.8	4,799	301.8

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 4,995百万円 (4.1%) 2022年6月期第2四半期 4,800百万円 (303.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	716.73	713.79
2022年6月期第2四半期	688.50	685.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	77,535	39,948	51.2
2022年6月期	72,662	36,699	50.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 39,707百万円 2022年6月期 36,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	255.00	255.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	255.00	255.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	2.6	13,740	5.2	14,500	9.0	9,500	3.9	1,361.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	7,265,212株	2022年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	283,392株	2022年6月期	287,426株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	6,979,245株	2022年6月期2Q	6,970,948株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍に端を発したサプライチェーンの混乱に伴う物価高に、地政学的イベントを受けた商品価格の高騰や消費需要の本格回復が加わり、近年まれにみるインフレが進行いたしました。こうした事態を受けて、主要中央銀行はそれまでの金融緩和政策を大転換し急激な金利引き上げに乗り出し、その影響から円相場は32年ぶりの円安水準を更新するに至りました。金融引き締めによる世界的な需要収縮や、輸入物価上昇による国内景気下振れが懸念される状況にあります。

かかる状況下、当社が関連する情報通信市場、半導体市場、エレクトロニクス市場については、前述の環境変化を受けて急激な在庫調整に入る市場もある一方で、次世代に向けた新製品の開発が進み、総じて底堅い需要を背景に堅調に推移いたしました。尚、当社が取り扱う主要貴金属価格につきましては、依然高い水準にあるもののなだらかに下落が続いており、当第2四半期連結累計期間における売上、利益に影響しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高24,270百万円（前年同四半期比15.0%増）、売上総利益9,074百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益7,507百万円（前年同四半期比6.4%減）、経常利益7,455百万円（前年同四半期比7.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,002百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

貴金属価格の高騰を受け、前期は単結晶育成装置向けイリジウムルツボにおいてはリサイクル受注が中心となっておりましたが、当第2四半期連結累計期間においてまとまった新規受注がありました。海外の医療用シンチレーター（放射線に当たると、蛍光を発生する物質）に使用される単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が堅調に推移するとともに、パワー半導体向け単結晶育成装置に供する機材の新規受注があり、売上高4,455百万円（前年同四半期比116.3%増）、売上総利益1,775百万円（前年同四半期比152.8%増）となりました。

[薄膜]

データセンターへの新規投資減速及び在庫調整局面を受けて、データセンター向けに供されるHD向けターゲットの受注が減少し、貴金属原材料の販売利益も減少したことから、売上高5,181百万円（前年同四半期比19.5%減）、売上総利益2,399百万円（前年同四半期比29.0%減）となりました。

[サーマル]

引き続き半導体需要は旺盛であり、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーからの受注が好調に推移するとともに、高付加価値製品へのシフトを進めてきたことから、売上高3,174百万円（前年同四半期比24.9%増）、売上総利益1,047百万円（前年同四半期比27.2%増）となりました。

[ケミカル]

精製・回収（リサイクル）、化学プラント向け触媒、有機EL向け化合物及び電極向け貴金属化合物いずれの受注も堅調に推移しました。一方で、貴金属原材料販売の利益が減少し、売上高10,336百万円（前年同四半期比9.3%増）、売上総利益3,839百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。

[その他]

当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の販売は増加した一方で、貴金属価格の高止まりにより原価が上昇したことから、売上高1,121百万円（前年同四半期比86.9%増）、売上総利益13百万円（前年同四半期比96.2%減）となりました。

②海外売上

当第2四半期連結累計期間における海外売上高は12,947百万円（総売上高に占める割合は53.3%）となりました。地域別には、欧州向け売上高4,466百万円（海外売上高に占める割合は34.5%）、北米向け売上高4,430百万円（海外売上高に占める割合34.2%）、アジア向け売上高4,050百万円（海外売上高に占める割合は31.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は77,535百万円（前連結会計年度末比4,873百万円の増加）、総負債は37,587百万円（前連結会計年度末比1,624百万円の増加）、純資産は39,948百万円（前連結会計年度末比3,249百万円の増加）となりました。

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は58,551百万円となり、前連結会計年度末比5,273百万円増加しました。これは売掛金が1,281百万円、デリバティブ債権が929百万円それぞれ減少しましたが、原材料及び

貯蔵品が7,911百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は18,984百万円となり、前連結会計年度末比399百万円減少しました。これはソフトウェア仮勘定が351百万円、建設仮勘定が167百万円それぞれ増加しましたが、機械装置及び運搬具が992百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は29,874百万円となり、前連結会計年度末比1,389百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金が3,446百万円減少しましたが、短期借入金が4,500百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は7,712百万円となり、前連結会計年度末比234百万円増加しました。これは長期借入金が192百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は39,948百万円となり、前連結会計年度末比3,249百万円増加しました。これは利益剰余金が3,222百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年8月8日付「2022年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,859	3,723
売掛金	5,157	3,876
受取手形	160	185
商品及び製品	1,828	1,218
仕掛品	4,607	4,837
原材料及び貯蔵品	34,880	42,791
未収消費税等	1,670	1,660
デリバティブ債権	929	—
その他	182	259
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	53,278	58,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	3,845	3,822
機械装置及び運搬具 (純額)	10,081	9,088
土地	1,727	1,727
リース資産 (純額)	63	98
建設仮勘定	1,588	1,755
その他 (純額)	96	107
有形固定資産合計	17,402	16,600
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	289	640
その他	64	54
無形固定資産合計	354	695
投資その他の資産		
投資有価証券	18	18
繰延税金資産	1,409	1,473
その他	199	197
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,626	1,688
固定資産合計	19,383	18,984
資産合計	72,662	77,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,359	7,913
未払金	2,318	2,119
短期借入金	8,200	12,700
1年内返済予定の長期借入金	2,764	3,156
未払法人税等	2,463	2,669
賞与引当金	345	368
役員賞与引当金	138	—
設備関係未払金	199	164
デリバティブ債務	—	291
その他	696	491
流動負債合計	28,485	29,874
固定負債		
長期借入金	6,224	6,417
退職給付に係る負債	779	812
資産除去債務	26	26
長期末払金	401	401
その他	45	53
固定負債合計	7,477	7,712
負債合計	35,962	37,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	7,056	7,070
利益剰余金	25,268	28,491
自己株式	△1,363	△1,344
株主資本合計	36,407	39,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	59	56
退職給付に係る調整累計額	△16	△13
その他の包括利益累計額合計	44	44
新株予約権	83	83
非支配株主持分	163	157
純資産合計	36,699	39,948
負債純資産合計	72,662	77,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	21,102	24,270
売上原価	11,637	15,195
売上総利益	9,464	9,074
販売費及び一般管理費	1,445	1,566
営業利益	8,019	7,507
営業外収益		
受取家賃	7	6
為替差益	—	1,335
デリバティブ評価益	134	—
その他	10	4
営業外収益合計	152	1,346
営業外費用		
支払利息	38	173
為替差損	100	—
デリバティブ評価損	—	1,221
その他	2	4
営業外費用合計	141	1,399
経常利益	8,029	7,455
税金等調整前四半期純利益	8,029	7,455
法人税、住民税及び事業税	3,306	2,524
法人税等調整額	△69	△65
法人税等合計	3,237	2,458
四半期純利益	4,792	4,996
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,799	5,002

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,792	4,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△0
為替換算調整勘定	7	△2
退職給付に係る調整額	1	3
その他の包括利益合計	8	△0
四半期包括利益	4,800	4,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,807	5,001
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,029	7,455
減価償却費	355	376
支払利息	38	173
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
為替差損益 (△は益)	33	△16
デリバティブ評価損益 (△は益)	△134	1,221
売上債権の増減額 (△は増加)	663	1,256
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,959	△7,530
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,028	△3,446
未収消費税等の増減額 (△は増加)	57	10
棚卸資産から固定資産への振替	△1,190	△138
固定資産から棚卸資産への振替	—	1,267
その他	△77	△582
小計	843	47
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△35	△172
法人税等の支払額	△3,670	△2,327
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,862	△2,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△53	△266
有形固定資産の取得による支出	△413	△726
その他	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△469	△995
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000	4,500
長期借入れによる収入	2,800	1,900
長期借入金の返済による支出	△1,114	△1,314
配当金の支払額	△1,040	△1,770
リース債務の返済による支出	△13	△16
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,630	3,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	270	△136
現金及び現金同等物の期首残高	4,262	3,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,533	3,721

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(棚卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直し、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第2四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の一部を棚卸資産に、また棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「商品及び製品」が20百万円減少し、「原材料及び貯蔵品」が953百万円増加し、「機械装置及び運搬具」が994百万円減少しております。また、「仕掛品」が197百万円増加し、「建設仮勘定」が135百万円減少しております。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)
商品及び製品	—	△478	△20
原材料及び貯蔵品	△855	△4,090	953
仕掛品	△334	115	197
機械装置及び運搬具	855	4,617	△994
建設仮勘定	334	△164	△135

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
日本	1,632	1,186	1,578	4,520	8,917	194	9,111
アジア (日本以外)	32	4,427	797	88	5,345	317	5,662
欧州	1	283	53	4,044	4,383	88	4,472
北米	394	541	113	805	1,855	—	1,855
顧客との契約から生じる収益	2,060	6,439	2,542	9,459	20,501	600	21,102
外部顧客への売上高	2,060	6,439	2,542	9,459	20,501	600	21,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,060	6,439	2,542	9,459	20,501	600	21,102
セグメント利益	702	3,377	823	4,206	9,110	354	9,464

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の販売等であります。

(注2)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	ケミカル	計		
売上高							
日本	2,235	1,407	2,156	4,710	10,509	812	11,322
アジア (日本以外)	80	2,580	900	332	3,893	156	4,050
欧州	—	120	27	4,166	4,314	151	4,466
北米	2,139	1,074	89	1,127	4,430	—	4,430
顧客との契約から生じる収益	4,455	5,181	3,174	10,336	23,148	1,121	24,270
外部顧客への売上高	4,455	5,181	3,174	10,336	23,148	1,121	24,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,455	5,181	3,174	10,336	23,148	1,121	24,270
セグメント利益	1,775	2,399	1,047	3,839	9,061	13	9,074

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品や当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の販売等であります。

(注2)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。